

令和4年度 袋原中学校の教育（グランドデザイン）

教育理念・教育目標

自立・貢献

社会に貢献できる自立した生徒の育成

育成を目指す資質能力

全ての教育活動は、生徒が「社会の中でより良く生きる」ためにある。

- (1) 自ら学び考え判断・行動する力
- (2) 多様な他者と協働する力
- (3) 自分の人生と社会をより良いものにしようとする力

<目指す生徒像> あたたかく きびしく ふさわしく

自分の生活や社会をより良いものにしていくために、当事者意識を持ち、他者と協働しながら、主体的に考え、表現、行動できる生徒。

<目指す教師像>

共創の精神 教職員・生徒・保護者・地域の協働で学校を創る。

- (1) 挑戦 教職員一人一人が知恵を振り絞り、より良い授業づくりと集団づくりに挑戦し続ける。
- (2) 信頼 生徒・保護者・地域と信頼関係を築くことができるように日々行動する。



教育ビジョン

幸福な人生と社会の創り手

実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける「総合的な学習の時間」
主体的な情報活用・対話的な言語活動・深みのある問題解決的な学習



学びに向かう力・人間性
生きて働く知識・技能
思考力・判断力・表現力

学び 各教科を学ぶ意義が分かる
「授業づくり」
(主体的で対話的な深い学び)
(各教科における見方・考え方)

協働 共に学ぶ良さを実感できる
「学年・学級づくり」
(自己を深く見つめる道徳科)
(自主的・実践的な特別活動)

今年度の重点目標

授業改善

自己との対話から学びを深め、他者を意識した表現を工夫する生徒

- ・学習の見通しと振り返り
- ・他者を意識した自己表現
- ・社会や生活との関連付け

道徳・特活の充実

所属集団をより良いものにするために、主体的に考え行動する生徒

- ・役割への誠実な取組
- ・自他による適切な評価
- ・異学年とのつながり



総合的な学習の工夫

自己の生き方を問い、自らの学びを客観的に捉えることができる生徒

- ・当事者としての課題設定
- ・解決に向けた粘り強さ
- ・多様な学び方の習得

学校・家庭・地域による協働型学校評価

到達目標 「自律的に行動し、他者との協働を通して、自己有用感を得ることができる生徒の育成」
 「挨拶」 さわやかな挨拶を進んで交わることができる生徒
 「清掃」 活動の意義を理解し、協働し効率的に清掃に取り組む生徒
 「行事」 各行事の目的に沿った行動をとることができる生徒

今年度の重点目標

「自分の役割を果たすことを通して、他者から認められる喜びを感じることができる生徒の育成」

主な学校行事 行事の意義・目的を考え行動しよう！

- 4月 着任式 始業式 入学式 対面式 仙台市標準学力検査
授業参観・学年学級懇談会 野外活動（2年）
- 5月 修学旅行（3年） 天文台学習（1年） 生徒総会
- 6月 市中総体激励会 市中総体 避難訓練 中間考査
ファイナンスパーク学習（3年）
- 7月 合唱コンクール 吹奏楽コンクール
県中総体 教育相談（全学年）
- 8月 夏季休業 市駅伝大会
- 9月 袋原フェスティバル 期末考査 授業参観・学年学級懇談会
- 10月 生徒会役員選挙・立会演説会 終業式 市新人大会 秋季休業
始業式 体育祭 進路説明会（3年） 校外学習（1年）
- 11月 教育相談（3年） 中間考査 避難訓練 職場体験学習（2年）
地区清掃 教育相談（1，2年） 三者面談（3年）
- 12月 新入生学校見学会（小6） 授業参観 科学館学習（2年）
- 1月 校内書きぞめ展 私立高校推薦入試
新入生保護者説明会（小6） 私立高校一般入試A日程
- 2月 私立高校一般入試B日程 期末考査 3年生を送る会
- 3月 公立高校入試 同窓会入会式 卒業式
授業参観・学年学級懇談会（1，2年） 修了式 離任式

入学式



袋原フェスティバル



合唱コンクール



体育祭



3年生を送る会



部活動

- <文化部> 吹奏楽 総合文化
- <運動部> 校庭 サッカー 水泳 ソフトテニス（女） 野球 陸上競技
- 体育館 卓球 バasketボール バドミントン バレーボール（女）
- 武道館 剣道 柔道

袋原の由来

学区の北を流れる名取川が広瀬川と合流し、名取川が大きく迂回して袋地状の氾濫原が広がっていることから、「袋原」の地名が生まれたと言われる。

校章

中央の緑は、袋原地域の美しい水田を表している。たくましく立派な中学生になるよう、若鷺をデザイン化し、希望あふれる大空（社会）に羽ばたいていく姿を象徴している。

校木「一位」

平成2年、開校10周年記念事業で、校木を「一位」と制定し植樹を行った。特徴としては、常緑樹で耐寒性に優れ、積雪にも強く枝が折れにくい。また、周囲を浄化し、幸福をもたらすパワーがあるとされ、多くの神社仏閣に神木として祀られている。本校特別支援学級の呼称にもなっている。

令和4年度に設置したステップルーム・ステーションは、在籍学級外の別室に、専任の担任を配置し、生徒の社会的自立に向けて適応支援を行う教室。

	年	月	学校沿革	
昭和	56	4	移籍生徒受入式 (2年275名, 3年201名) 第1回入学式(287名) 開校記念日を制定(4月17日) 父母教師会設立 校章制定(天野満氏デザイン)	
			5	生徒会設立 中田東部青少年育成連絡協議会発足
	57	3	プール竣工, 砂場竣工 校歌・校旗制定披露 同窓会結成 第1回卒業式(198名)	
			10	運動部部室竣工
		61	3	校歌レリーフ除幕(生徒作品)
		62	3	柔剣道場落成披露
	平成	2	10	開校10周年記念式典 校木「一位」記念植樹
				12
22		11	開校30周年記念式典	
23		11	父母教師会(文部科学大臣表彰)	
令和	3	2	普通教室エアコン設置 在籍学級外教室ステーション設置	
			4	4

生徒数

令和4年4月8日現在

	いちい1組	いちい2組	1組	2組	3組	4組	5組	合計
1年	3	1	29	28	28	28	29	146
2年	4	1	34	34	35	35	—	143
3年	—	2	32	32	32	32	—	130
								419

教職員

校長	F. Y (社会)	生徒指導主事	S. J (数学)	養護教諭	W. K	
教頭	I. S (英語)	いじめ対策担当	S. J (数学)	事務長	M. M	
教務主任	T. M (家庭)	不登校支援担当 (ステップルーム担当)	S. J (数学)			
いちい1組	O. A (社会)	2組	T. N (英語)	支援員	H. M	
1学年主任	M. H (社会)	2学年主任	H. J (英語)	3学年主任	E. Y (英語)	
副主任	S. A (保体)	副主任	M. Y (社会)	副主任	S. T (数学)	
1組	N. G (理科)	1組	K. Y (保体)	1組	K. T (理科)	
2組	F. M (数学)	2組	S. N (数学)	2組	H. H (保体)	
3組	O. Y (英語)	3組	M. E (音楽)	3組	O. Y (国語)	
4組	M. R (保体)	4組	A. K (理科)	4組	A. H (社会)	
5組	S. A (保体)	副担	A. I (国語)	副担	O. H (技術)	
副担	W. K (美術)	拠点校指導員	S. H (数学)	副担	N. T (数学)	
副担	S. Y (国語)			少人数指導	M. Y (数学)	
主任(用務)	I. K (技師)	O. S	図書事務	M. M	F. N	
給食搬送	S. A	I. R	搬送代替	T. K	PTA事務	K. S
スクールカウンセラー	U. Y	さわやか相談員	K. T	学習支援員	W. S	

校医

管理校医(内科)	K. R	校医(耳鼻科)	S. M	校医(眼科)	T. K
校医(歯科)	Y. K	学校薬剤師	O. Y		